

平成31年度学校自己評価システムシート (県立松山高等学校)

目指す学校像 建学以来の伝統である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成する。

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 「チーム松高」としての組織的指導力に基づき、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させる。
	また、SSH事業の円滑な実施をとおして、科学技術の発展に伴い、深い学びへ主体的に向かう生徒を育成する。
	2 自己の在り方生き方を常に考えさせ、心身ともにたくましく、高い目標にチャレンジし続ける生徒を育てる。
3 本校の良さを積極的に発信し、保護者・地域・同窓会との「絆」を深め、一層信頼される学校づくりを進める。	

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (月 日現在)				
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	<p>【現状】 ICTを活用した授業や松高塾等を通じた丁寧な指導を実践している。昨年度は、国公立大学合格者数が増加したが、難関私大の合格者は減少した。第一志望校(高い目標)への挑戦をあきらめてしまう生徒が見られる。</p> <p>【課題】 生徒の第一志望校合格に向け、学力をさらに向上させるとともに、目標に挑戦し続ける態度を育成する。多様な入試に対応できる力を付けさせる。SSH事業をさらに活性化させ、主体的に学ぶ力を育成する。</p>	<p>生徒の学力をさらに高めるとともに、目標に挑戦し続ける態度を育成し、進学実績を向上させる。</p> <p>SSH事業により主体的に学ぶ力を育成する。</p>	<p>①教員研修や授業相互公開等を活用した更なる授業改善により、生徒の主体的に学ぶ力を育成する。</p> <p>②計画的な進路ガイダンスや学習オリエンテーション、丁寧な面談等により、生徒一人ひとりに応じた進学指導を実践する。</p> <p>③第一志望校合格に向け、松高塾等による更なる学力定着、小論文や面接指導等による多様な受験対策指導を行う。</p> <p>④新学習指導要領に向け、本校の将来を見据えた新教育課程を編成する。</p> <p>⑤保護者とともに進路を考えるきっかけとして、保護者対象進路説明会や進路研修会等をさらに充実させる。</p> <p>①課題研究や大学との連携等により質の高い学びの場を提供し、全校を挙げて主体的に学ぶ意欲と力を身に付けさせる。</p> <p>②英語発表会や留学生との交流等により、グローバルな視点を育成する。</p> <p>③アウトリーチ活動(生徒による小・中学生等対象の科学教室)により、他者を指導する力を育成する。</p>	<p>①授業に対する生徒アンケート結果</p> <p>②取組状況及び国公立大学及び難関私大の合格者数10%増</p> <p>③取組状況及び国公立大学及び難関私大の合格者数10%増</p> <p>④将来を見据えた新教育課程の編成結果</p> <p>⑤研修会の実施と保護者対象のアンケート結果</p> <p>①諸行事を通じた生徒の意識の変化</p> <p>②発表及び交流状況と外部委員の評価</p> <p>③生徒の意識の変化と参加者によるアンケート結果</p>			
2	<p>【現状】 多くの生徒が基本的な生活習慣が確立されており、校内での挨拶もよく行われている。部活動にも真剣に取り組む、全国レベルで活躍する生徒も多くいる。一部に心に悩みを抱える生徒が見られる。</p> <p>【課題】 今後も文武不岐を目指すための部活動指導体制の充実を図る。生徒相談体制を更に充実させる。</p>	<p>各活動を通じて、心身ともにたくましい生徒を育成する。</p>	<p>①全教職員による全体指導と個別指導、計画的な登校指導や交通安全指導により、規範意識や交通マナーをさらに確立させる。</p> <p>②日頃の丁寧な生徒観察や生徒アンケート等により、安心安全な学校生活を保障する。</p> <p>③生徒相談体制を充実させ、SC、SSW、特別支援コーディネーター等の外部機関との連携を強化する。</p> <p>④生徒会行事のさらなる充実やボランティア活動等への積極的な参加により、生徒の主体的行動力を育成する。</p> <p>⑤一層緻密な指導体制を確立し、部活動を活性化させる。生徒のニーズに合う充実した活動を行う。</p>	<p>①3回以上の整容指導、10回以上の登校指導、丁寧な個別指導、生徒の変化</p> <p>②いじめ及び問題行動の100%解消</p> <p>③SC、SSW、特別支援コーディネーターと効果的な連携</p> <p>④生徒主体の学校行事やボランティア活動への取組と参加状況</p> <p>⑤生徒の部活動加入率。全国・関東レベルの大会へ8部以上出場</p>			
3	<p>【現状】 HPによる情報発信や地域連携等により開かれた学校づくりに努め、高評価を得ているが、それが生徒募集には結びついていない。</p> <p>【課題】 中学生が減少する中、選ばれる学校づくりを進める。さらに本校の良さを実感できるための広報に取り組む。</p>	<p>積極的な情報発信や外部との連携強化により、入試志願倍率を向上させる。</p>	<p>①HPを通じて本校の「良いところ」を、効果的かつ積極的に情報発信する。</p> <p>②学校説明会等を保護者との連携により実施するなど、多角的な視点から広報活動を行う。</p> <p>③体験授業、部活動、地域行事等を通じ、地域や地元小中学校との連携を強化することにより、本校の良さを広報する。</p> <p>④塾主催の説明会への積極的な参加、塾訪問や塾対象学校説明会により生徒募集を強化する。</p> <p>⑤生徒・保護者対象のアンケートの集計と分析により、選ばれる学校づくりの検討を行う。</p>	<p>①HPの更新回数とアクセス数</p> <p>②学校説明会の参加者数とアンケート結果</p> <p>③地域との連携数とその内容</p> <p>④各説明会への参加状況</p> <p>⑤アンケートの実施と分析の実施</p>			

学校関係者評価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	